

## 平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		04 04 15	中期総合計画主要施策番号		3-05	担当課	部・課	社会部障害福祉課		
事業名		西駒郷運営事業					内線	2385		
							E-mail	fukushi@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	・知的障害者に対して必要な支援を行い、その豊かな暮らしと自立を目指す。								
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 ・利用者の地域生活への移行が進む一方で、引き続き西駒郷での支援が必要な利用者が存在する。 ・施設の老朽化、居住スペースの狭隘化などの解消に向けて改修を行ってきたが、引き続き、利用者の居住環境の改善が必要である。 【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 ・利用者の高齢化が進むとともに、障害程度の重い利用者の比率が高くなっている。 ・昭和43年の開所以来、40年経過しており、本格的な改修をしていない。 【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 ・利用者一人ひとりの特性に応じた支援の、より一層の充実に努める必要がある。 ・利用者の居住環境の改善と自立に向けた支援の充実のための施設整備が必要である。								
		事業内容	・(社福)長野県社会福祉事業団を指定管理者に指定し、管理運営を行う。 ・地域生活に移行した西駒郷利用者に対して、アフターケアを行う。							
		実施期間	S 43 ~	根拠法令等	長野県西駒郷条例、西駒郷基本構想					
	成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
西駒郷利用者の地域生活移行を進めつつ、併せて利用者に対する支援の充実を図る。 〔西駒郷基本構想の目標 15~24年度の間に340人程度の地域生活移行を目指す。〕		・利用者本人や家族の意向を尊重しながら、地域生活移行を進める。(20人) ・居住棟も含めた、西駒郷施設全体としての環境改善を図る。			・地域生活移行者は25人となり、期待どおりの成果が達成できた。(累計247人) ・入所授産施設(主に作業棟)のトイレ、シャワー室及び食堂休憩室等の改修等を行い、居住環境の改善を図った。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下			
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円	1,243,262	374,360	304,953	国庫・県単	国庫・県単		
	決 算 額 (B)		千円	1,213,326	359,179		実施方法	直接、委託		
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	638,685	330,991	297,843	歳出節別内訳等	・委託料:329,112 ・工事請負費:29,064 (H21への繰越額 8,694)		
	概 算 人件費	従事する職員数	人	6	5	5	(単位: 千円)			
	概算人件費 (C)		千円	42,840	35,700	35,745				
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	1,256,166	410,060	340,698					
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	西駒郷入所利用者数(年度当初)		人	231	212	187	・地域生活移行者数 25人			
	西駒郷通所利用者数(年度当初)		人	33	40	53				
	個室または2人部屋利用者の割合		%	97.2	100.0	100.0				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・入所利用者数の減少は、地域生活移行を進めた結果である。他方、通所利用者は増加しており日中活動の場としての役割は高まっていることから事業ニーズに変化はない。 ・県職員派遣という形で人的関与については、22年度末までに廃止の予定。 ・地域生活移行の進捗状況等を見極めつつ、施設の集約など、効率的な施設運営について、検討の余地がある。			
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	課題の総括		・西駒郷に入所している利用者の多くは、障害の程度が重く、高齢化も進んでいるため、居住環境の改善も含め、より一層自立に向けた支援の充実に努めていく必要がある。 ・利用者の地域生活移行の進捗状況や、それに基づく各施設の将来的な利用予定を踏まえながら、サービスの質を低下させないことを前提に、効率的な施設運営について検討する必要がある。							